



1999年1月

明治大学校友会

福岡支部だより

● 第3号 ●

明治大学校友会福岡支部事務局 / 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4-1-2 セントラルホテルフクオカ内 TEL092-712-1212



館

春

おめでとう

明治大学創立120周年記念館

リバティタワーついに完成

21世紀への道に参列して 銘板はあなたを待っている

福岡支部長 古賀愛人

校友からの100億円を目標とした募金と合わせ総額400億円にのぼる総工費によって建設される“われらが母校、明治大学”のルネッサンス21のシンボルともいわれる23階建ての“リバティータワー（旧記念館跡）”の完成記念式典がさる平成10年11月22日午前10時を合図に、駿河台一帯を埋めつくす多くの校友と現役、それに道ゆく一般の人々の見守るなかで厳かなうちにも盛大にとり行われました。

全国校友会の副会長として私もこの日の式典に参列してきましたが、その風景はまさに校歌の一節“白雲なびく駿河台”そのものでした。

石沢NHKアナウンサー（昭和51年法学部卒）の司会で幕をあげ、まず後藤実行委員長（政経学部長）の挨拶を皮切りに戸沢学長、岡村大学理事長、青木校友会長の挨拶が行われ、続いて栗田総長の『21世紀を迎えて大学は新時代に立ち向かう自己研鑽の時代である。新しい大学は何をなすべきか』という格調の高い大学の課題を示す講演が行われ、さらに飯沢明大図書館整理課長の校歌をめぐる貴重なわれわれの知られざる裏話が披露された。最後に全員による校歌が駿河台一帯にひびき渡るなかでひとまず式

典を終わりました。

続いて午後の部に入り、壮大なタワーの一階右側正面の壁に刻み込まれたこの日までの校友名の寄付者銘板除幕式が岡村理事長、青木校友会長他全学部長らが居並ぶなかで華やかに行われ、引き続き万雷の拍手のなかでこもかぶり樽の鏡割り式が行われ乾杯へと進んだのです。

寄付者銘板はさらに今後3年間に亘って追加されてゆくことになっており、校友の母校を思う善意の寄付を待ち受けているのが現状です。募金は現在100億円の半分の50億円であり、それだけに大学側の要請も並々ならぬものがあります。我々もいま一歩踏み込んで協力してゆかなければと思わずにはられませんでした。福岡支部1,100名の校友に改めてこの紙上を通じお願いして報告にかえたいと思います。



ブラスバンドと演奏ととももの始まった開会式



熱気溢れる
ホームカミング式典会場



募金寄付者銘板の除幕式

MEIJI UNIVERSITY
LIBERTY TOWER

平成10年度 福岡支部定期総会

平成10年9月10日

平成10年度明治大学校友会福岡支部定期総会は、平成10年9月10日セントラルホテルフクオカにおいて、明治大学から農学部部長津坂伸幸氏や、福岡県父母会東富士男会長を初め父母10名及び校友である駐福岡大韓民国総領事徐賢婁氏、それに県内各支部より桑名義治小倉支部幹事長他3名の方々をお迎えして盛大に開催された。

支部長より創立120周年を控えリパティタワー等諸施設が充実する大学の現状をご報告いただき、東会長のご挨拶、そして徐賢婁氏の挨拶の後、会場を移し、懇親会に入った。新入校友の自己紹介や、父母会の方々や出席者全員に当たる抽選会で大いに盛り上がり、応援団OB津島校友の指揮で、共に肩をくみ声高らかに校歌を斉唱し、明治大学万歳校友会万歳でおひらきになった。



●古賀支部長挨拶



●緒方福支部長乾杯の音頭



●桑名小倉支部幹事長挨拶



左から
●古賀支部長
●徐賢婁総領事
●津坂伸幸農学部部長
●緒方副支部長



●新入校友紹介



●父母会の協力をいただき抽選会



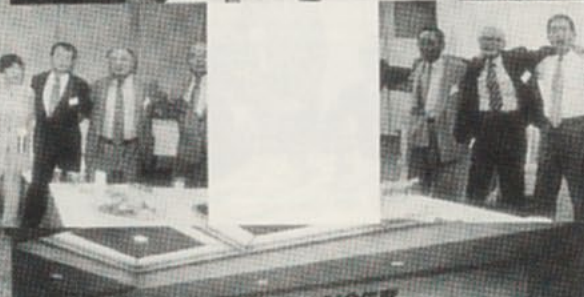
●中西和久校友「ひとり芝居」のPR



●津島校友の指揮で校歌斉唱



●父母会の方も一緒に肩を組み校歌



●明治大学万歳 校友会万歳

平成9年度 会計報告書

自 平成9年8月1日
至 平成10年7月31日

収入の部		支出の部	
費目	金額	費目	金額
前年度繰越金	1,710,541	総会費	831,530
年会費 (@3,000×235名)	705,000	校友会分担金	303,135
総会費 (@5,000×75名)	375,000	会議費	323,492
＃ (@3,000×7名)	21,000	新年交礼会	667,694
祝儀 (総会=11口、交礼会=4口)	220,000	祝儀及び会費	190,000
校友会助成金	60,200	通信費	38,580
交礼会費 (@6,000×62名)	372,000	封筒および印刷費	117,074
＃ (@4,000×3名)	12,000	博覧会通信費	100,000
校友会名簿売上 (11部)	11,000	雑費	96,680
テレホンカード (3枚)	3,000	アクロス会場予約金	126,150
受取利息	1,488		
小計	3,500,229	小計	2,794,335
		次年度繰越金	705,894
合計	3,500,229	合計	3,500,229

年会費の振込みご協力をお願い致します。

福岡支部役員名簿

今回は役員改選の時期であり下記の方々には就任していただきました。

役職	氏名	卒年	学部	役職	氏名	卒年	学部
顧問	浦原 順次	S 6	法	幹事	萩尾 政明	S 33	法
〃	木下 健人	S 28	政経	〃	上杉 雄	S 33	商
支部長	古賀 愛人	S 24	政経	〃	朝山 昭男	S 33	経営
副支部長	緒方 豊吉	S 13	政経	〃	生田 俊明	S 34	法
〃	萩原 一彦	S 28	政経	〃	原 維宏	S 34	商
〃	安永 富士男	S 30	商	〃	梅津 幸弘	S 35	法
〃	森 泰播	S 33	経営	〃	松岡 要三	S 35	政経
常任幹事	渡 治男	S 16	専	〃	岩佐 嘉久	S 37	法
〃	小石原 英照	S 27	商	〃	松尾 善勝	S 38	法
〃	奥 尚克彦	S 29	法	〃	徳田 昭夫	S 39	農
〃	林 文文郎	S 31	工	〃	河北 吉隆	S 39	政経
〃	伊藤 文武	S 32	法	〃	荒川 於洋	S 39	工
〃(新)	萩原 弘章	S 33	法	〃(新)	広安 一	S 40	商
〃	岩崎 明弘	S 34	法	〃	野口 順四郎	S 41	法
〃	野 幸幸	S 41	政経	〃	吉田 英毅	S 42	法
〃	上野 幸幸	S 45	工	〃	吉田 善行	S 45	経営
〃	横田 耕治	S 48	工	〃	名合 武	S 49	政経
〃	矢谷 学志	S 50	法	〃	坂口 憲義	S 49	商
〃	本田 博志	S 52	法	〃	善 敏治	S 50	工
〃(新)	鈴木 弘幸	S 56	政経	〃	二木 清彦	S 52	政経
事務局	石井 義孝	S 35	商	〃	中原 淳二	S 53	農
監査	城戸 直樹	S 37	法	〃	木下 和広	S 53	政経
〃	橋本 敏夫	S 28	政経	〃	吉田 幸三	S 55	商
〃	望月 慎	S 28	政経	〃	松本 優三	S 56	商
〃	建川 道夫	S 28	政経	〃	福永 英清	S 56	政経
幹事	貞方 道夫	S 30	商	〃(新)	松本 清幸	S 59	政経
〃	長谷川 敏夫	S 30	商	〃	藤瀬 浩	S 60	政経
〃	上月 武志	S 30	商	〃	藤瀬 浩	S 60	法
〃	塩崎 正臣	S 30	文	〃	高野 礼子	H 1	法
〃	井手 安美	S 31	工	〃(新)	齊藤 博文	H 1	文

Renaissance 21

Renaissance 21

◎福岡支部募金委員会よりお知らせとお願い

平成9年4月より福岡支部の校友会会員の皆様に、明治大学創立120周年記念事業に関する募金をお願いをして参りましたが、皆様方の深いご理解と多大なご協力を賜り、11月末日現在、約1,100万円の寄付金をお寄せ頂きましたことをご報告申し上げますとともに、厚く感謝申し上げます。次第でございます。

明治大学募金室には速やかに送金させていただきました。

下記に福岡支部会員の寄付者一覧表を掲載(福岡支部扱い分のみ)致しましたが、当福岡支部の募金目標総額は2千万円となっておりますので、この目標額を達成するにあたり、福岡支部会員の皆様方をはじめ、企業・法人の方々からのご寄付を重ねてお願い申し上げます。

なお、募金予約申し込みも受け付けておりますので、事務局までご連絡をお願いいたします。

◆福岡支部募金要項

- q 募金目標額 2,000万円
- w 募金の種類 (a)個人寄付 1口5万円
(一口以上お願いします。)
- (b)法人寄付 1口の金額は特に定めなし。

e 募集期間 平成9年4月1日より3年間

r 払込方法 下記の銀行及び郵便局の口座に払い込んでください。
振込手数料は振込人負担でお願いします。

t 払込口座

口座名 明治大学校友会募金委員会
会計 城戸 直樹

- 福岡銀行 香椎支店
普通預金 No.1961181
- 西日本銀行 香椎支店
普通預金 No.1455201
- 福岡シティ銀行 香椎支店
普通預金 No.1328625
- 福岡香住ヶ丘郵便局
記号番号 01790-4-52887

y 分割払の取扱い

分割払の取扱いをしておりますので、払込取扱票の通信欄にご記入ください。
又は事務局までご連絡ください。

福岡支部募金状況 (福岡支部扱い分のみ)

■平成10年12月1日現在 (敬称は省略させていただきます)

金 200万円	松本 優三 (56商)		
金 100万円	古賀 愛人 (18政)		
金 60万円	森 泰播 (33営)		
金 50万円	三野原和光 (37文)		
金 25万円	岩崎 明弘 (34法)		
金 20万円	浦原 順次 (6法)	・緒方 豊吉 (13政)	・木下 健 (28政)
金 10万円	渡 治男 (16専)	・横山 毅 (16法)	・山本 秀雄 (18政)
	安永 友儀 (25法)	・小石原英照 (27商)	・荻原 一彦 (28政)
	奥蘭 克彦 (29法)	・上月 武志 (30商)	・塩崎 正臣 (30文)
	安永富士男 (30商)	・林 文郎 (31工)	・井手 安美 (31工)
	西嶋 宏治 (32文)	・荻原 弘章 (33法)	・武藤健二郎 (33法)
	生田 俊明 (34法院)	・上杉 鷹雄 (34商)	・石井 義孝 (35商)
	西 敏直 (36商)	・日高 梓 (36商)	・城戸 直樹 (37法)
	笠原 靖美 (37営)	・作野 士郎 (41政)	・野口順四郎 (41法)
	吉田 英毅 (42法)	・上野 孝幸 (46工)	・橋岡 一 (48文)
	矢谷 学 (50法)	・本田 博志 (52法)	
金 5万円	国松 弘 (11商)	・竹田 醇 (11政)	・国松 薫 (15商)
	熊手 睦 (18政)	・宮本 一宏 (24工)	・平山 又生 (25法)
	建川 聡 (28政)	・原 弘二郎 (28商)	・実淵 正人 (29商)
	田中 勝美 (31政)	・田中 久也 (33文)	・野田 幸生 (33法)
	住中 義彰 (33営)	・井本竹次郎 (34営)	・坂井 武敏 (34法)
	田中裕一郎 (35政)	・藤野 勝也 (36法)	・安武 秀忠 (37商)
	上田 誠三 (38工)	・徳田 昭寛 (39農)	・安部 栄一 (39商)
	佐藤 剛 (45政)	・藤田 一枝 (47法)	・鮫島 俊隆 (48政)
	花田 重人 (49政)	・遠藤 勝也 (57政)	
金 2万円	明石 貞久 (41工)	・和泉周一郎 (45工)	・坂本 秀信 (16商)
金 1万円	榊 光蔵 (8商)	・広瀬 梓 (29政)	・柴田 涉 (26法)
	松本 靖朗 (59政)		・橋本 徹彦 (30政)
金 5千円	近藤 公男 (34工)	・園田 博茂 (36商)	・倉元 啓之 (33政)
			・木曾 厚三 (34商)
			・古賀 徹也 (37政)
			・新開 忠之 (41政)
			・石橋 哲理 (48工)
			・山内 要明 (51工)
			・末永 節子 (44営)

ご協力ありがとうございます。
今後もよろしくお願い致します。

夕刊 EVENING MAGAZINE

学

リハビリタワーが誕生

北の大地に光る汗・合宿「夏の陣」

ラグビー部 スピード

野球部 優勝へ

往復8キロ。恐怖の登山

23階新校舎は知的な
パンカラ・イメージ

絶景かな。駿河台にそびえる学びの塔

明治大学

夕刊 EVENING MAGAZINE

学

3Kにもめげずモノ作りの楽しさ実感

新素材磁石の開発へ
理工学部・山元研究室

「種発芽」の謎に挑む
農学部・川上研究室

どっこいガンバル理工系

明治大学

明治大学23階建て新校舎「リハビリタワー」の完成にともない、産経新聞東京版夕刊に8月31日(月)9月7日(月)9月14日(月)の3週に亘り、毎回8ページの変り行く明治大学特集が掲載されました。大学の教育理念や新しい分野に挑戦する学部、村山元総理の談話、明大人脈、ラグビー部北島監督、野球部島岡監督のエピソード等々の面白く興味ある記事が満載されております。一部ですが、ご紹介させていただきます。なお現物をご覧になりたい方は、福岡支部に1部ございますので、石井事務局長にお問い合わせ下さい。

り強

福岡支部の歴史

今回は昭和11年から昭和27年まで18年間支部長として、校友会福岡支部の発展に寄与されました故毛利淳一郎氏を、ご子息の東京大学名誉教授毛利健三氏より寄稿いただきました「父の楽書きから」で氏の人柄等をご紹介します。

「父の楽書きから」

毛利 健三

父、毛利淳一郎は1995年3月19日午前5時54分永眠いたしました。明治27年(1894年)9月16日の生まれですから、百年と6カ月の天寿を全うした一生でした。大好物だった餅を喉にひっかけたのがもとでした。遅ればせではございますが、父が愛し、また、誇りとしていました明治大学の校友会の皆様、この場をお借りして生前のご厚誼に対して心から御礼申し上げます。

父の履歴書には大正3年7月、明治大学予科卒業、大正6年7月、明治大学法科卒業と記されております。大学を出た年に三井鉱山株式会社に就職しますが、海外勤務(台湾炭鉱・基隆炭鉱)を命じられ、病を得て本国に戻ります(「基隆(キールン)のクルーベ浜は悲しけれ銀河照る空南十字星」などの句を残しています。)

病が癒えた後は、商工省発令地方商工主事として福岡県勤務を振り出しに、福岡県産業奨励館館長、日本東亜輸出組合福岡支部長などの職を歴任し、戦後は鉱工業貿易公団福岡支部長に任ぜられています。ほとんど国策会社か法定機関で戦前・戦中・戦後をつうじて日本の貿易振興に専念し、九州一円を管轄区域とする地方商工行政に携わっていたわけであり、関係諸団体の顧問や理事なども数多くこなしています。幼児時代の私の記憶では度々中国に出張していました。「大陸は南に北にわが職場雁の巣基地より飛び立ちしわれ」は働き盛りの自負でしょうか。

父は百年の生涯の大部分を健康に恵まれて過ごしました。晩年の生活は義理にも豊かとは申せませんでしたが、心まで貧しくはありませんでした。「名を代えよわが家の庭の富有柿」と詠み、「たわわに実る色づいた柿をもぎる、柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺、正岡子規の句が浮ぶ、松の梢の百舌がけたたましく啼いて油山系に飛び去る、目にしみる秋晴の静寂なる草香江小路の昼下り」(昭和西巴文化の日)と書いています。

余生に恵まれたせいでしょう、父はこの種の落書きをたくさん残しています。以下、幾つかの凡作を引いて晩年の父を偲ぶこととお許しいただきたいと存じます。

「大三元どよめきわたる春の宵」(元気な日の父は家庭麻雀を好みました)

「大観の不二を眺めて寝正月」(床の間には正月決まって大観の掛け軸がありました)

「漱石を座右に低徊五十年」(読書好きで、とりわけ漱石の健全な常識を愛しました)

「みちのくの子等健やかに春をまち」(私が福島大学に勤めていたころ孫を思う)

「城内の睡蓮枯れて秋深し」「山楮高々と見て坂のぼる喚声高し平和台球場」(大の西鉄ライオンズ嵐屋で草香江の庵から平和台に足繁く通いました)

「冬晴や結納運ぶ和自道」(世話好きで何かカップルも媒酌しました)

「散華師の読経も澄みて二十五忌」「海を見る高台の家香華たつ」(長生きしただけ多くの別れを経験しました)

「寒椿咲くには寒し雪しぐれ」「山茶花の雲にぬれし紅の色」(椿と山茶花の句を数多く残しています)

「水仙の花一本の香りかな」

晩年の父は身の小さな自然と平和を愛し、静かに暮らしました。四季をつうじて句を詠んでいますが、春の句が断然多いことに今回気がつきました。「松の内を過ぎて待ちきれずに急げる泰生の椿と小鳥の一幅から我家に春が訪れる」と書いていますから、椿も小鳥も春の使者だったのでしょう。春を待ちきれないのは椿より父の方だったかも知れません。

「客もなくけふも庵のうらさびし」「インフレの身に沁む老の寒さかな」などの句を見つめますと足りなかった親孝行が悔やまれます。しかし、「老梅に百舌鳥泰然と冬うらら」を見つめますと安堵を取り戻します。泰然としているのはここでも父その人ですから。ともあれ、福岡の地に愛着し、足を知る明治人の父は、ご覧のように「凡庸性の法悦に対する憧憬」(トーマス・マン)とでも呼びたくなる心境を住処としていたように思えます。大文豪の言葉を借用するのは僭越ですが、父の供養を兼ねたこの小文を校友会諸賢が大目に見てご海容下されば誠に幸いです。

毛利健三氏(64歳)東京都多摩市(在住)
毛利淳一郎(元)福岡支部長の三男として福岡市で生まれ育つ。修猷館高校を経て、東大(経済学部)卒業。福島大学教授を経て、東大(社会科学研究所)教授、東大を定年退官後、現在専修大学大学院教授(東大名誉教授・経済学博士)



故毛利淳一郎氏と奥様

※今後も支部の歴史に関する資料や校友会の思い出等をご寄稿下さい。

駿台ゴルフ

第28回福岡県駿台ゴルフ会は平成10年11月6日麻生飯塚ゴルフ倶楽部に於いて筑豊支部が当番幹事にて開催された。福岡支部より6名が参加し、総勢30名8組で、スポーツの秋にふさわしく晴天で絶好のゴルフ日和の下で行われた。

		グロス	ハンディ	ネット
優勝	灰塚昌弘 (久留米支部 昭38文)	83	10.8	72.2
準優勝	広瀬宣夫 (小倉支部 昭32営)	94	21.6	72.4
3位	末廣正雄 (福岡支部 昭35商)	87	14.4	72.6

次回は来春福岡支部が当番幹事にて開催いたします。



明福ゴルフ

第14回明福ゴルフ会は平成10年12月3日筑紫野カントリークラブに於いて、5組19名で開催されました。天候は曇り空で途中少し雨に降られましたが、気温15度位でまずまずのゴルフ日和で楽しいゴルフコンペとなりました。成績は次の通りです。

		グロス	ハンディ	ネット
優勝	有吉正昭 (昭44商)	74	4	70
準優勝	川口和隆 (昭37営)	82	8.3	73.7
3位	森 泰播 (昭33営)	96	21	75

今回は忘年ゴルフ会として夜はセントラルホテルフクオカに席を移し、表彰式と忘年会に、夜だけの参加者5名も加わって、賑やかに楽しく酒を飲み交わしました。

明福ゴルフ会に参加ご希望の方は校友会福岡支部事務局石井事務局長までご連絡下さい。ご案内を差し上げます。



◆徐賢燮総領事「日本人とエロス」出版



明治大学大学院で法学博士の学位を取得された駐福岡大韓民国総領事徐賢燮(ソウ・ヒョン・ソウブ)氏が、1994年に出版された「日本の底力」に続き1998年12月1日「日本人とエロス」日本語版を出版され、その記念祝賀会が12月16日福岡市中央区地行浜の総領事官邸で行われました。福岡支部から古賀愛人支部長、萩原一彦副支部長、石井義孝事務局長ら12名がお祝いに駆けつけました。徐氏の益々の活躍を祈念するとともに、友好を暖めました。



全国学友青森大会道中記

我が明治大学校友会全国大会は、青森市で開催され、福岡県連支部からも30余名が「ねぶた」の威勢に負けじと勇んで機上に乗り込んだまではよかったが、悪天候には勝てず、青森空港を眼下に迂回し、秋田空港に着陸と相成った。急遽、バスを仕立てて青森会場へと向かったが、雨の影響等で青森到着が遅れ、大会式典や懇親会、また「ねぶた」の祭典にも間に合わず、これが本当の「あとの祭り」ということでしょうか。残念！

一夜明ければ上天気、八甲田山、奥入瀬渓谷、十和田湖等々を巡り、日本三大霊場の一つである恐山へと向かった。霊場に入る前に必ず渡るのが「三途の川」ですが、皆さん一緒に渡った仲なので、すべてが一蓮托生？この日の宿、薬研温泉では、盛り上がること山の如し、宿の仲居さん達もビックリ、大いに下北の夏の夜を謳歌いたしました。

次の日は、本州最北端部の大間岬では遙か函館をバックに記念写真をハイ一枚。大間の西、佐井港から小船に揺られて20分、仏ヶ浦(干潮時のみ運航)には厳しい自然がもたらした奇岩奇石が林立し、高さ40~70m位の巨岩が様々な形で石像群を構成し、それらは長年にわたって北海の風雪、荒波に浸食され作り上げられた芸術的な群像であり、自然の力の物凄さに驚嘆しました。

さて、いよいよ大間港よりフェリーで函館をめざし、

90分の船旅を楽しむことになりました。船中では色々な旅の思い出話が弾み、いつしか、黒石さんと、朝山さんの掛け合い漫才がはじまり、船室いっぱい笑いの渦で、二人のユーモラスで流暢な会話のやりとりは、抱腹絶倒、といった楽しいひとときでした。お二人さん、お疲れさんでした。

函館では、華麗なる夜景見物、五稜郭、トラピスト修道院等々を見学して一連の行程を無事終えることができましたわけですが、これらの思い出深い旅の友愛の情は固い絆としていつまでも続くことでありましょう。

心に残る旅を有り難うございました。

城戸 直樹(37年法学部卒)



明治大学校友会全国大会

新広報誌「明治」発刊される

明治 The Quarterly Meiji 10 1998 創刊号



リバティタワーの竣工と同時に、学術教養誌「明治」が発刊されました。リバティタワー、ハイテク・リサーチセンターやゲストハウス、清里セミナー等の教育環境の整備と共に、各学部では、大学の教育理念「権利・自由」「独立・自治」を現代にマッチした様々な改革など21世紀に向けて果敢は取組が始められています。新広報誌「明治」はそれらの情報発信・伝達手段として重要な使命を果たすことと思われまます。

定期購読等は、
大学広報部
〒101-8301
東京都千代田区神田駿河台1-1
TEL 03-3296-4083

お問い合わせ下さい。

年 新 賀 謹

●明治大学校友会福岡支部●

<p>木下 健</p> <p>昭和二十八年政経卒</p>	<p>古賀 愛人</p> <p>明治大学校友会副会長 福岡支部長</p> <p>昭和十八年政経卒 昭和二十四年政経卒</p>	<p>蒲原 順次</p> <p>福岡県連合支部長 福岡支部顧問</p> <p>昭和六年法卒</p>			
<p>森 泰播</p> <p>昭和三十三年経営卒</p>	<p>安永富士男</p> <p>昭和三十年商卒</p>	<p>荻原 一彦</p> <p>昭和二十八年政経卒</p>	<p>緒方 豊吉</p> <p>昭和十三年政経卒</p>		
<p>渡 治男</p> <p>昭和十六年専卒</p>	<p>建川 聰</p> <p>昭和二十八年政経卒</p>	<p>望月 孝植</p> <p>昭和二十八年政経卒</p>	<p>橋本 敏夫</p> <p>昭和二十八年政経卒</p>	<p>城戸 直樹</p> <p>昭和三十七年法卒</p>	<p>石井 義孝</p> <p>昭和三十五年商卒</p>
<p>岩崎 明弘</p> <p>昭和三十四年法卒</p>	<p>荻原 弘章</p> <p>昭和三十三年法卒</p>	<p>伊藤 文武</p> <p>昭和三十二年法卒</p>	<p>林 文郎</p> <p>昭和三十一年工卒</p>	<p>奥蘭 克彦</p> <p>昭和二十九年法卒</p>	<p>小石原英照</p> <p>昭和二十七年商卒</p>
<p>鈴木 弘幸</p> <p>昭和五十六年政経卒</p>	<p>本田 博志</p> <p>昭和五十二年法卒</p>	<p>矢谷 学</p> <p>昭和五十年法卒</p>	<p>横田 耕治</p> <p>昭和四十八年工卒</p>	<p>上野 孝幸</p> <p>昭和四十六年工卒</p>	<p>作野 士郎</p> <p>昭和四十一年政経卒</p>

学友の活動紹介

光の騎士となれ



光の騎士となれ

緒方豊吉氏 (昭13政経卒)

校友会福岡支部副支部長緒方豊吉氏が理事長としてお世話される福岡県盲導犬協会の活動・活躍を伝える「光の騎士となれ」が発刊されました。

緒方豊吉副支部長は、当協会の理事長として平成10年2月に在職10年、そして85歳を迎えられましたが、かくしゃくとして、社会奉仕を信条とするライオンズクラブの長老であるとともに、明治大学父母会のお母様方に大人気であり、又酒脱な挨拶・乾杯の音頭を楽しみに校友会にお見えになる校友ファンがいる方でもあります。

緒方副支部長の、明治大学時代の文武両道に通じたエピソードや、銀行生活から180度方向転換をして盲導犬育成という未知の道を手探りで歩いていく姿を中心に、協会の歴史や盲導犬と結ばれた視覚障害者の感動的な記録などが書かれています。

(「光の騎士となれ」はヘレン・ケラーの視覚障害者救済を求めて訴えた演説の結びの言葉「ライオンよ、闇を照らす光の騎士となれ」から採用されたそうです。)

お問い合わせ先:福岡県盲導犬協会

福岡市中央区荒戸3-3-39市民福祉プラザ4F:TEL092-714-3169



フォーネット

松本靖朗氏 (昭59政経卒)

59年政経卒の松本靖朗校友が「ふくおか経済」の編集長を8年間務めた後独立し、株式会社フォーネット社を設立、12月にはビジネスネットワーク情報誌「フォーネット」(月刊)を創刊されました。

「自信を無くしたかのように思われる日本経済ですが、小さくてもきらりと光る技術、製品を持った企業や前向きにがんばっている人たちにスポットを当て「元気」を提供していきたいと思っております。「前へ」の意気込みと「誠実に」をモットーに雑誌作りに取り組んでいきたいと考えております。校友の皆様方にはご愛読と情報提供のほどよろしくお願ひいたします。」と決意を寄せていただきましたので是非ご協力をお願い致します。

お問い合わせ先:(株)フォーネット社

福岡市博多区博多駅南4-5カワイビル6F:TEL092-432-6077

編集後記

「福岡支部だより第3号」をお届けいたします。創立120周年記念館リパティタワーも完成し母校明治大学は着々と教育環境を整備し益々発展の一途をたどっています。

平成8年に続きまして、当日券が売り切れになるほど大盛況且つ大好評をいただきました我が母校「明治大学マンドリン倶楽部」に、今回もゲストとして前回のアンコールに応じて、菅原洋一氏を招き、福岡県盲導犬協会のチャリティコンサートとして開催いたします。音楽を通じて目の不自由な方のお役に立ちたいと考えていますので、校友の皆様のご協力とご参加をよろしくお願いいたします。

支部だよりは校友の広告で発行しておりますが、3月のマンドリン演奏会の方にご協力をお願いしたために、今回は常任幹事の皆様方にご無理をお願いし発刊させていただきました。

各分野で元気に、母校明治の名を高め、活躍している校友をこれからも紹介・応援していきたいと考えていますので、是非ご紹介や情報をお寄せ下さい。また校友のエッセイ等も掲載しますので投稿をよろしくお願いいたします。

1月22日に新年交礼会を開催致しますので、校友各位お誘い合わせご出席をいただき「元気な明治」で新年をお祝いしたいものです。